

福井県後期高齢者医療広域連合告示第16号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、令和2年4月1日から令和2年9月30日までの財政状況及び令和元年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和2年12月18日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 令和2年度一般会計（令和2年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	474,272,000	237,154,000	50.0
2 国庫支出金	139,000	0	0.0
4 繰越金	1,000	21,584,560	2,158,456.0
5 諸収入	66,000	0	0.0
合計	474,478,000	258,738,560	54.5

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,487,000	32,248	2.2
2 総務費	157,702,000	73,822,502	46.8
3 民生費	313,288,000	0	0.0
4 諸支出金	1,000	0	0.0
5 予備費	2,000,000	0	0.0
合計	474,478,000	73,854,750	15.6

(2) 令和2年度後期高齢者医療特別会計（令和2年9月30日現在）

【歳入】

(単位:円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	18,896,306,000	7,251,890,309	38.4
2 国庫支出金	34,741,638,000	20,818,765,523	59.9
3 県支出金	8,923,785,000	5,600,000,000	62.8
4 支払基金交付金	42,196,360,000	18,016,375,000	42.7
5 特別高額医療費共同事業交付金	27,547,000	0	0.0
6 財産収入	226,000	5,933	2.6
8 繰入金	732,021,000	0	0.0
9 繰越金	1,000	2,551,757,070	255,175,707.0
11 諸収入	1,263,000	103,591,450	8,202.0
合計	105,519,147,000	54,342,385,285	51.5

【歳出】

(単位:円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	322,351,000	140,339,288	43.5
2 保険給付費	104,801,274,000	41,157,466,139	39.3
4 特別高額医療費共同事業拠出金	37,791,000	0	0.0
5 保健事業費	317,203,000	168,047	0.1
6 基金積立金	226,000	5,933	2.6
7 公債費	1,000	0	0.0
8 諸支出金	20,301,000	9,898,400	48.8
9 予備費	20,000,000	0	0.0
合計	105,519,147,000	41,307,877,807	39.1

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 令和2年9月30日現在所有なし
- ②基金 令和2年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 859,550,573円

(2) 地方債 令和2年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 令和2年9月30日現在借入なし

3 令和元年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

令和元年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	528,647,478	562,194,524	△33,547,046	△6.0
歳出	506,717,918	503,957,157	2,760,761	0.5
差引	21,929,560	58,237,367	△36,307,807	△62.3

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	528,502,000	528,647,478	100.0
歳出	528,502,000	506,717,918	95.9

令和元年度の決算額は、歳入5億2,864万7,478円、歳出5億671万7,918円で、歳入歳出差引額は2,192万9,560円となった。この差引額は、剰余金として令和2年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と95.9%となった。

②歳入の状況

令和元年度の歳入決算額は、5億2,864万7,478円で、前年度決算額と比較して3,354万7,046円、率にして6.0%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億7,000万4,102円、繰越金が5,823万7,367円となっている。

前年度決算額と比較して減となった要因は、平成30年度に行った広域連合電算処理システムの更新作業が終了し、その分を含め、分担金及び負担金が6,374万9,303円減額となったことによるものである。

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	470,004,102	88.9	533,753,405	△ 63,749,303	△ 11.9
2 国庫支出金	345,000	0.1	146,943	198,057	134.8
4 繰越金	58,237,367	11.0	28,247,255	29,990,112	106.2
5 諸収入	61,009	0.0	46,921	14,088	30.0
合計	528,647,478	100.0	562,194,524	△ 33,547,046	△ 6.0

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	470,004,000	470,004,102	470,004,102	0	102
2 国庫支出金	195,000	345,000	345,000	0	150,000
4 繰越金	58,238,000	58,237,367	58,237,367	0	△ 633
5 諸収入	65,000	61,009	61,009	0	△ 3,991
合計	528,502,000	528,647,478	528,647,478	0	145,478

③歳出の状況

令和元年度の歳出決算額は、5億671万7,918円で、前年度決算額と比較して276万761円、率にして0.5%増加した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が98万7,650円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億5,017万705円、特別会計への繰出金である民生費が2億9,732万2,196円、市町への償還金である諸支出金が5,823万7,367円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して議会費が増となったのは、2月臨時会を開催したためである。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	987,650	0.2	756,553	231,097	30.5
2 総務費	150,170,705	29.6	147,939,411	2,231,294	1.5
3 民生費	297,322,196	58.7	327,013,938	△ 29,691,742	△ 9.1
4 諸支出金	58,237,367	11.5	28,247,255	29,990,112	106.2
5 予備費	0	0.0	0	0	—
合 計	506,717,918	100.0	503,957,157	2,760,761	0.5

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,522,000	987,650	534,350	64.9
2 総務費	159,980,000	150,170,705	9,809,295	93.9
3 民生費	306,762,000	297,322,196	9,439,804	96.9
4 諸支出金	58,238,000	58,237,367	633	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	528,502,000	506,717,918	21,784,082	95.9

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

令和元年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	109,615,644,540	106,973,113,112	2,642,531,428	2.5
歳出	107,064,232,470	104,792,275,469	2,271,957,001	2.2
差引	2,551,412,070	2,180,837,643	370,574,427	17.0

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	107,689,334,000	109,615,644,540	101.8
歳出	107,689,334,000	107,064,232,470	99.4

令和元年度の決算額は、歳入 1,096 億 1,564 万 4,540 円、歳出 1,070 億 6,423 万 2,470 円で、歳入歳出差引額は 25 億 5,141 万 2,070 円となった。この差引額は、剰余金として令和2年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ 101.8%と 99.4%となった。

②歳入の状況

令和元年度の歳入決算の総額は、1,096 億 1,564 万 4,540 円で、前年度決算額と比較して 26 億 4,253 万 1,428 円、率にして 2.5%の増となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が 180 億 5,160 万 2,943 円、国庫支出金が 365 億 5,250 万 3,646 円、県支出金が 89 億 8,473 万 9,017 円、支払基金交付金が 428 億 1,313 万 5,000 円、繰入金が 8 億 6,106 万 5,475 円、繰越金が 21 億 8,083 万 7,643 円となっている。収入未済額は諸収入において 636 万 2,444 円発生し、不納欠損額は 0 円であった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、市町、国、県からの支出金及び支払基金からの交付金が増額となったことによるものである。

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	18,051,602,943	16.5	17,393,412,987	658,189,956	3.8
2 国庫支出金	36,552,503,646	33.3	35,531,900,773	1,020,602,873	2.9
3 県支出金	8,984,739,017	8.2	8,559,249,053	425,489,964	5.0
4 支払基金交付金	42,813,135,000	39.1	41,882,022,000	931,113,000	2.2
5 特別高額医療費共同事業交付金	26,963,062	0.0	31,785,105	△ 4,822,043	△ 15.2
6 財産収入	124,340	0.0	152,925	△ 28,585	△ 18.7
8 繰入金	861,065,475	0.8	1,009,046,329	△ 147,980,854	△ 14.7
9 繰越金	2,180,837,643	2.0	2,386,954,296	△ 206,116,653	△ 8.6
11 諸収入	144,673,414	0.1	178,589,644	△ 33,916,230	△ 19.0
合計	109,615,644,540	100.0	106,973,113,112	2,642,531,428	2.5

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納欠損額	収入未済額	予算現額と決算額との比較 C-A
1 市町支出金	17,912,412,000	18,051,602,943	18,051,602,943	0	0	139,190,943
2 国庫支出金	35,722,720,000	36,552,503,646	36,552,503,646	0	0	829,783,646
3 県支出金	8,847,297,000	8,984,739,017	8,984,739,017	0	0	137,442,017
4 支払基金交付金	42,090,940,000	42,813,135,000	42,813,135,000	0	0	722,195,000
5 特別高額医療費共同事業交付金	31,785,000	26,963,062	26,963,062	0	0	△ 4,821,938
6 財産収入	247,000	124,340	124,340	0	0	△ 122,660
8 繰入金	902,039,000	861,065,475	861,065,475	0	0	△ 40,973,525
9 繰越金	2,180,838,000	2,180,837,643	2,180,837,643	0	0	△ 357
11 諸収入	1,056,000	151,035,858	144,673,414	0	6,362,444	143,617,414
合計	107,689,334,000	109,622,006,984	109,615,644,540	0	6,362,444	1,926,310,540

③歳出の状況

令和元年度の歳出決算の総額は、1,070億6,423万2,470円で、前年度決算額と比較して22億7,195万7,001円、率にして2.2%の増となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億2,540万6,090円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が1,042億1,369万5,630円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が2億1,832万2,012円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が17億8,796万7,275円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して増となった主な要因は、保険給付費が増額となったことによるものである。

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	325,406,090	0.3	365,546,603	△ 40,140,513	△11.0
2 保険給付費	104,213,695,630	97.3	101,761,118,103	2,452,577,527	2.4
4 特別高額医療費共同事業拠出金	28,083,745	0.0	28,047,440	36,305	0.1
5 保健事業費	218,322,012	0.2	204,243,660	14,078,352	6.9
6 基金積立金	490,757,718	0.5	237,639,817	253,117,901	106.5
7 公債費	0	0.0	0	0	—
8 諸支出金	1,787,967,275	1.7	2,195,679,846	△ 407,712,571	△ 18.6
9 予備費	0	0.0	0	0	—
合計	107,064,232,470	100.0	104,792,275,469	2,271,957,001	2.2

※ 決算額構成比は四捨五入しているため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	342,894,000	325,406,090	17,487,910	94.9
2 保険給付費	104,754,841,000	104,213,695,630	541,145,370	99.5
4 特別高額医療費共同事業拠出金	39,868,000	28,083,745	11,784,255	70.4
5 保健事業費	247,519,000	218,322,012	29,196,988	88.2
6 基金積立金	490,881,000	490,757,718	123,282	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0.0
8 諸支出金	1,793,330,000	1,787,967,275	5,362,725	99.7
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
合計	107,689,334,000	107,064,232,470	625,101,530	99.4